自分自身に誇りをもち、自他を尊重し、未来を切り拓く人間の育成

伊里中港より

夢の中へ

令和6年7月19日

校訓自律・愛・創造

1学期、生徒の皆さんよくがんばりました!! 夏休みは 十分エネルギーを蓄えて、2学期に備えましょう!

梅雨明けが待ち遠しい時期になりました。じめじめと蒸し暑い日が続いています。今日は1学期を締めくくる終業式が行われました。生徒たちは、学活の時間に各担任の先生から通知表を渡してもらいました。1学期にできたところ、できなかったところをしっかり確認して、2学期に生かしてほしいと思います。

いよいよ明日から夏休みです。しっかり目標や計画を立てて、充実した夏休みにして いきましょう。

学校訪問

中学校には、様々な機会に、色々な方が学校の様子を見に来られます。7月3日(水)には教育委員会の方が授業の様子を勧されました。教育委員会の方からは「どの授業も生徒の皆さんの学びに向かう姿勢がよいですね。」とお褒めの言葉をいただきました。3年生の理科の授業では、様々な生物の特徴についてタブレットを使って情報を共有していました。1人1台をすびレットがあると、クラス全体での情報共有がスムーズにできます。今後も、学校として授業や宿題でタブレットを効果的に使用していきたいと考えています。授業参観後には協議を行い、授業改善についていろなアドバイスを頂きました。さらに授業がよくなるように、学校全体として授業改善を進めていきたいと思います。





寺子屋

6月下旬より、毎週火・金曜日の放課後に学習支援ボランティアの方に来ていただいて補充学習を行っています。今年度は火曜日3年生、金曜日2・3年生の希望者が参加しています。16:20~17:20の1時間、それぞれ課題を持ち寄り、分からないところを学習支援ボランティアの方に質問しています。来ている生徒たちも真剣そのもの。1時間集



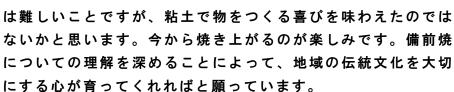
中して取り組んでいます。少しでも生徒の「困り感」が解消してくれたらと願っています。学習支援ボランティアの皆様、いつもありがとうございます。

非行防止教室(1年)

7月16日(火)6時間目に、「非行防止教室」が行われました。備前警察署の安藤那穂子さんにお話をしていただきました。少年非行の実態の説明、具体的な法律や罰条の説明、捕まった後の処分のこと等について学びました。被害者の気持ち、家族や周りの人たちの気持ちに触れることによって、ルールを守ることの重要性を理解することができました。

備前焼体験学習(2年)

6月26日(水)5・6時間目に、備前焼体験学習を行いました。本校では、毎年2年生が行って、 備前焼を制作する活動です。講師に藤原宏先生をお招きして、備前焼の歴史や制作方法について教えていただきました。生徒たちは、事前にアイデアスケッチを描いてきていて、それぞれが思い思いの作品を作りました。作品を作る上で、「何のために、何を作りたいか、何を伝えたいか」などを考えて取り組んでいました。イメージしたものをつくること







出前授業(3年)

7月16日(火)5・6時間目に、備前緑陽高校の先生による出前授業が行われました。教科は「工業機械」と「福祉」。3年生が2グループに分かれて授業を受けました。「工業機械」では、自動車の日常点検及びタイヤの脱着について、「福祉」では、福祉入門~身近な福祉を考えよう!~について学びました。工業機械では、実際の自動車を使って、タイヤの脱着について体験することができました。日頃、高校の先生に教えていただく機会がない中で、少し高度な学習を体験することができ、3年生にとてもよい経験となったと思います。





編集後記

令和6年度も4月にスタートしてあっという間に1学期が終わりました。特に学校として大きなトラブルもなく無事に過ごせたことは大変ありがたいことです。保護者の皆様には、学校の取組に対してご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。至らない点もあったと思いますが、その点は反省して次に生かしていけたらと考えています。さて明日から夏休みとなります。生徒たちにとって、普段の生活に比べて自由に使える時間が増えると思います。学校での生活よりも、家庭や地域で過ごすことが多くなります。生徒一人一人がこの夏休みにしっかり目標をもって、充実した夏休みとなることを期待しています。ご家庭でもこの機会にしっかり子供たちに向き合っていただければと思います。今一番願っていることは、「2学期の始業式を全員元気で迎えれられる」ことです。一人一人が、事件や事故に巻き込まれることなく、健康に過ごしてほしいと思います。そのためにも、しっかり状況判断をして、自分で考えて行動できる人間になって欲しいと思います。2学期も1学期同様、伊里中学校をよろしくお願いします。